

広報

ぼし

キラキラ☆たまみず

平成24年1月1日
第11号

発行
[玉水まちづくり協議会]

明けましておめでとうございます 本年もよろしくお願ひいたします

城北小学校区にお住まいの皆様方におかれましては、ご家族おそろいで新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、玉水まちづくり協議会も今年で3年目になります。昨年、黒豆講習会や福祉ワークショップ、校区運動会の太鼓演奏や鹿柵設置の支援などの新しい試みも取り入れながら活動してきました。これも、皆様方のご理解とご支援があればこそと、大変感謝しております。ありがとうございました。

10/23(日)城北校区親睦運動会で
**和太鼓演奏を
堪能しました**



三好 大地さんを代表とする「ほほえみ太鼓」や「和太鼓COCOLO」の皆さんによる和太鼓演奏が、運動会の昼休み時間に行われました。

当日は、小雨が降ったり止んだりのあいにくの天気でしたので、児童玄関の前での演奏となりました。が、子どもたちは三好さんのすぐ近くで、大人の方々は傘を片手に、また屋根の下で聞きました。体全身に和太鼓の心地よい音が響き、しばし音楽の世界を堪能することができました。

また、たくさんの方々に和太鼓の演奏を聞いていただき、計画しました私たちもうれしく思いました。

11/1(火) たくさんの受講者を得て 実施できた黒豆講習会



玉水まちづくり協議会では、初めての「黒豆講習会」を開催いたしましたところ、40名弱の参加者を得て実施することができました。当日は、地域特産物のマイスター（黒大豆の匠）の「山本博一氏」を講師にお迎えして、土壤作りから種子の選び方、成長に伴う作業の仕方など、基本的なことを分かりやすく教えていただきました。

[講師の山本 博一氏]

特に印象に残っていますのが、黒豆栽培の跡地に麦を植えてすき込むと連作障害を起こさないことと、収穫した全体の豆の中から大きな粒を残して次年度の種子とせず、大きくてたくさんなった株の種子を次年度の種子に使うことです。また、参加者からも質問が活発に出され、黒豆栽培に対する熱意の高さを感じられました。

この講習会が、今後の黒豆栽培の一助になれば幸いです。



[大変わかりやすい講習会でした。]

11/5(土) 第2回保健福祉ワークショップ行われる

前回の話し合いを受けて、今回は「玉水まちづくり協議会でできることはできないか？」を主題として、高齢者のこと、地域のつながり、自然・災害・防災、子どものことについて話し合いました。

特に、高齢者問題については差し迫った問題だけに、活発な話し合いがなされました。移動手段のことや集う場所が無い、一人暮らしの見守りなどについては、できるだけ早期に解決策を見出していくことを確認し合いました。

その第一歩につなげるために、年明けに第3回目のワークショップを計画しています。興味や関心のある方は、ぜひともご参加下さい。

(開催日時や場所につきましては、各地区の自治会長さんにお尋ね下さい。)

11/15(火) 城北小学校オープンスクール に参加

昨年に引き続き、今年も城北小学校のオープンスクールに参加しました。



特に、交通手段に困っておられる方のために、少しでも手助けになればと、バスを配車しました。

参加された方からは、「子どもたちの、学校での様子がよく分かりました。」とか、「子どもたちの生き生きした姿に感動しました。」などの感想をいただきました。



11/19(土)

三世代交流グランドゴルフ大会が行われる



〔「おっ、いい感じ。」ホールイン・ワンをねらっています。〕

また、段ボール紙を利用して「ジャンボゴマ」を作つてのこま回し大会も、続けて行われました。

競技の後、玉水会館に場所を移して、表彰式が行われました。そして、黒豆おにぎりとしし汁の昼食をいただきました。

当日は朝から雨で、運動場でのグランドゴルフはできなくなりました。しかし、講堂で「ホールイン・ワン大会」と称して、1回だけ打つてホールイン・ワンを競う競技が行われました。

運動場と違い、木の床は思った以上に玉が転がるため、競技者は悪戦苦闘。それでも、回数を重ねていくうちに「ホールイン・ワン」が出始め、あちこちで拍手がわき上がっていました。



〔一生懸命、コマを作っています。〕

グランドゴルフや工作などを通じて、幼児から高齢者までのすてきなふれ合いがたくさん生まれ、参加された方々は大満足でした。



そのような姿を目にし、計画しました私たちも、とてもうれしく思いました。

11/12(土)城北校区人権学習会 が行われる



[三田市高平人権サークルのみなさんを
講師に迎えました。]

その中でも、いまだに部落差別が残っており、結婚や就職に際して悪影響を及ぼしていることを知りました。これらの差別解消のためには、このような学習会を積み重ねていくことがとても大切だということに、改めて気づかされました。

また、このような学習会に参加することで、自分の日常生活を振り返り、人権感覚の見直しもできるので、機会があれば参加していきたいと思いました。

今年も、玉水会館で「人権学習会」が行われました。講師として、三田市高平人権サークルのみなさんをお迎えして、「なかなかならない部落差別」について、みんなで考えました。

人権啓発劇「それ、おかしいやん！」をテーマに、劇風にした語り口でお話を聞かせていただきました。それが大変わかりやすく、参加された方々はうなずかれたりメモを取ったりしながら、熱心に聞かれていました。



[熱心に学習をされている参加者の皆さんです。]

〔城北小学校だより「クリンソウ」の栽培〕

保存会の方に教えていただきながら、丁寧に土を入れてクリンソウの苗を植えました。子どもたちは、「早く咲くといいな」と毎日水をやり、大きな花が咲くのを楽しみにしていました。

しばらくして、かわいい蕾が出てきました。茎がぐんぐん伸びて、かわいい花が咲きました。花は、輪をかけて咲いていきます。九輪（クリン）とまではいきませんでしたが、五輪ほどにはなりました。



3年生は、育ち方の観察をしたり、絵手紙に描いたりして学習しました。かわいく咲いている花を見ていると、心が和みます。

